

## 将来ビジョン及び必要な取組・事業

提案主体名	「Zero Energy & Infinite Networks」プロジェクトコンソーシアム	※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。
提案プロジェクト名	「Zero Energy & Infinite Networks」プロジェクト	※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。
都道府県名	全国	※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。
対象地域 市町村名	全国	※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。

① 関連する分野	環境（再生可能エネルギー） 超高齢化（高度情報化されたコンパクトシティによる村社会の復活） その他（都市の自立と仮想空間における未来予測と情報収集）	※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。
----------	--	--

② 将来ビジョン（環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標（2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿））	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
---	---

このプロジェクトは、限られた資源を分かち合いながら、互いに助け合い、豊かに暮らすことができる、サステナブルなコンパクトシティのプロトタイプの実現を目標としています。  
コンパクトシティとは、集積型の都市であり、高密度な社会の生成、職住近接による消費エネルギーの低減、エネルギーの自律的循環をめざした『ゼロエネルギー都市』です。それは集積型の自立的な都市であることにより、災害に対しても強い抵抗力を備えています。それは、近未来都市のプロトタイプとして、日本の各所に適用可能であり、その地域の可能性を最大限に活かすことができるような柔軟性を備えていなければなりません。さらに、この都市は、外部から訪れる人びとを快く受け入れる、日本特有のホスピタリティを備えた「開かれた都市」でもなければなりません。  
コンパクトシティのプロトタイプは、それが実空間に適用される場合には、仮想空間上の無限のネットワークに接続されたアルゴリズムとしてシミュレーションされ、実モデルの検証系として、同時並行的に存続します。そのためには、インターネット・コミュニティによる生活のためのニーズの収集と、クラウド・コンピューティング（建築においてはBIMと呼ばれています）による、時系列・地域的な解析と、実空間による検証を継続する必要があります。  
プロジェクトのビジョンは、仮想空間における無限のネットワークによって、実空間においてゼロエネルギー都市をうみ出すことです。両者は緊密に連携し、並行的に持続します。それは都市の生命と同じように、始まりも終わりもない持続的な活動です。

③ 将来ビジョン（②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方）	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
-------------------------------------	---

このプロジェクトが目指す、『ゼロエネルギー都市』とは、環境的サステナビリティと経済的サステナビリティを共存させた社会的サステナビリティを持った、自立都市と言えます。  
社会的サステナビリティとは、人との人間関係の持続性も含んだ考え方で、『限られた資源を分かち合いながら、互いに助け合い、豊かに暮らすことができる』という、社会に与えられた永遠のテーマをITという、最新技術を活用し具現化してこうという活動です。  
その主体はあくまでも、『住民』であり、その街は住民の総意を反映したものでなければなりません。  
しかし、その住民の総意を反映するということが今までの街づくりにおいては大変難しい行為でした。しかし、情報化社会が進み、住民全員が情報端末を所有するようになれば、住民一人一人の声に専門家が耳を傾けることが可能となりました。  
また、高度に発展したスーパーコンピュータなどを活用すれば、その住民の総意と専門家による専門的知識を結集させた未来の街の姿を具体的なビジュアルとして、住民全員へ情報端末を通じてプレゼンテーションすることも可能となりました。  
政府としては、具体的な街を作り上げていくことも重要な役目ではありますが、未来の担い手である子どもたちに夢の持てる未来の国家の姿を具体的な姿として見せてあげることも重要な役目ではないでしょうか。

## ④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業（技術・システム、サービス、仕組み等）

番号	取組・事業の名称 ※異なる名称を付けてください。	取組・事業の概要 ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	取組・事業の期間	実施主体・運営主体 ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を（ ）内に記入してください。	価値、分野の種類	国の支援の必要性 ※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	ゼロエネルギー都市候補地選定	ゼロエネルギー都市建設にあたり最適な候補地の選定を行います。	半年以内	国家	都市計画	○
(2)	検討委員会による候補地評価	有識者による検討委員会を設置し、候補地を評価します。	半年以内	有識者による検討委員会	都市計画	○
(3)	候補地詳細検討会の設置	候補地が決定したら、その住民並びに自治体関係者とともに詳細検討会を実施します。	半年以内	中央政府、有識者、地元自治体、住民代表	都市計画、地域再生	○
(4)	ゼロエネルギー都市技術開発	メーカー、ディベロッパー、医療法人、観光業等ゼロエネルギー都市に関する技術・サービス開発を行います。	一年以内	メーカー、ディベロッパー、医療法人、観光業者など	先端テクノロジー	○
(5)	ゼロエネルギー都市事業主体	ゼロエネルギー都市を実現にされるべくその事業主体を決定します。	一年以内	住民参加による共同企業体	都市運営、行政	○
(6)	ゼロエネルギー都市管理運営主体	ゼロエネルギー都市を運営・管理する任意企業体を検討します。	一年以内	住民参加による共同企業体	都市運営、行政	○
(7)						
(8)						
(9)						
(10)						

⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
--	---

我々が目指すコンパクトシティは、送電線不要な4000人を一ユニットとする次世代型『ゼロエネルギー都市』です。高密度に人々が暮らすことにより、その消費エネルギーを極限まで削減し、地産地消の自立型都市の創出を目指します。  
そのことによって、周りの自然はその生命力を取り戻し、急激な勢いで再生していくでしょう。  
また、そこで培われたノウハウは世界に輸出できる日本のホスピタリティ都市パッケージとして、世界各所に創出できるものになります。  
(詳しくは別紙を参照)